

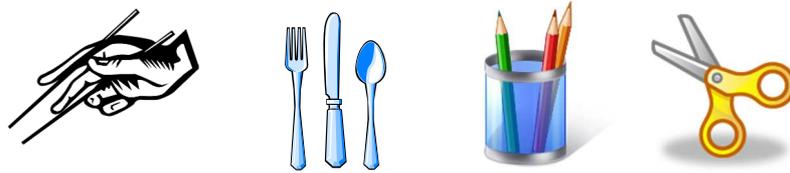
# 作業療法ってな～に??

## ◆どんなことをするの?◆

お子様の運動、感覚などの体の機能に着目してつまずきの原因を分析し、一人ひとりに合った“あそび”を提供します。“あそび”を通じて、手や体、道具の使い方がより上手になることを目指します。

### ◆たとえばこんな方が対象です◆

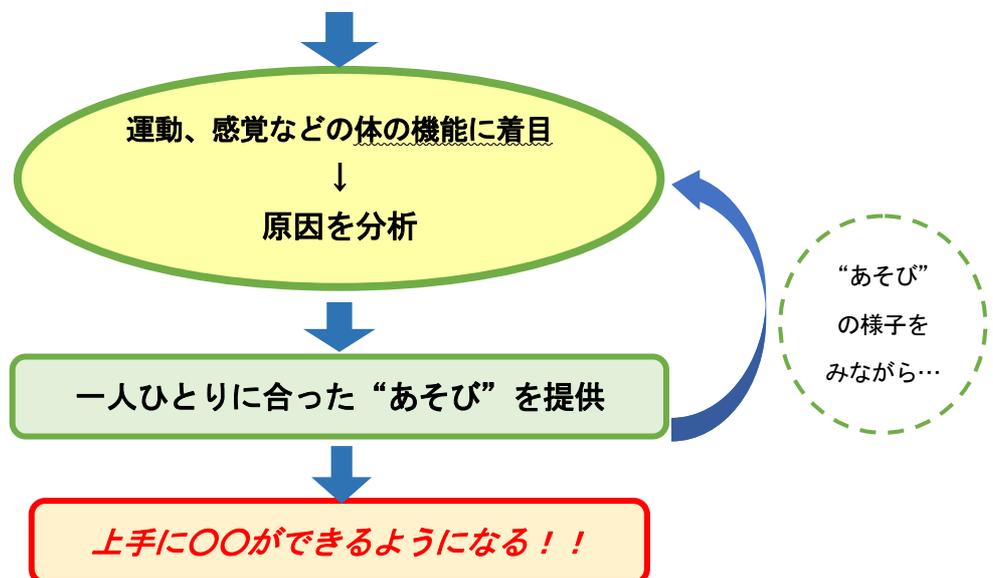
- ・手や道具がうまく使えない（お箸、スプーン、えんぴつ、はさみ、など）



- ・体の動きがぎこちない（座る、立つ、歩く、走る、遊具で遊ぶ、など）



- ・生活にかかわる動作がぎこちない（着替える、トイレ、ごはんを食べる、など）



## ◆なぜ“あそび”なのか？◆

作業療法では、“あそび”とは**感覚を刺激するもの**と考えます。

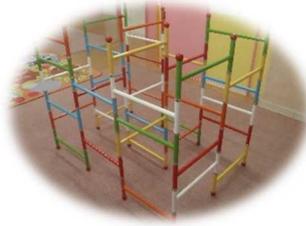
感覚には、大きくわけて「意識しやすい感覚」「意識しにくい感覚」があります。

意識しやすい感覚

「視覚」「聴覚」「触覚」  
「味覚」「嗅覚」

意識しにくい感覚

「平衡感覚」「固有覚」「(意識しにくい)触覚」



たとえば…

- ・ねんど遊び、どろんこ遊び⇒主に手の「触覚」を刺激します
- ・ジャングルジム、すべり台⇒主に「平衡感覚」「固有覚」を刺激します

昔から親しまれている子どもの“あそび”には感覚を刺激するものが多いのです。

様々な感覚の刺激は脳に集まり、頭の中で“整理”されることで、「動作」という目に見える形で現れます。「動作」がぎこちなく見えるということは、この“整理”があまりうまくいっていないという可能性があります。

そこで…

- ・どのように“整理”がうまくいっていないか？
- ・上手に“整理”するにはどうすればいいか？
- ・“整理”するためにはどんな“あそび”が必要か？

(※こうした観点は特に「感覚統合理論」と呼ばれています)

*Ikutas kids* の作業療法では  
感覚統合理論を踏まえ  
お子様一人ひとりに合った  
“あそび”を交えた  
楽しい療育を行います♪

